

(公社) 日本地すべり学会関東支部・(一社) 斜面防災対策技術協会関東支部
技術講習会『能登災害の調査報告』開催報告

(公社) 日本地すべり学会関東支部

1. 実施概要

関東支部では、平成 27 年度より(一社)斜面防災対策技術協会関東支部との共催事業を行っております。例年、現地見学会を実施してきましたが、令和 7 年度は共催事業として初となる技術講習会を開催し、「能登災害の調査報告」と題して 3 名の講師にご登壇いただきました。

表-1 技術講習会の実施概要

開催日	令和 7 年 10 月 17 日(金)
会場	埼玉建産連研修センター 大ホール
主催	(公社) 日本地すべり学会 関東支部 (一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部
参加者数	70 名



写真-1 会場風景

2. 内容

(1) 基調講演：現地観測結果から考える「初生すべり」から「地すべり」の遷移プロセス
講演者：石井 靖雄 氏 ((一財) 砂防・地すべり技術センター)

基調講演では、深層重力性斜面変形から地すべりへ遷移するプロセスや斜面の運動様式の変化に関する調査結果についてご報告いただきました。奈良県赤谷西地区での調査結果を中心に、地中変位計測やボーリングコア観察、地下水位・降雨量との関係などに基づいた地すべり発生メカニズムの分析や、豪雨時だけでなく通常時でも多面せん断 (Sagging) から地すべり (Sliding) への遷

移が進行する可能性について解説があり、初生地すべりや地すべり発生機構に関する基礎研究成果をご報告頂きました。



写真-2 石井氏による基調講演

(2) 講演 1：能登半島地震による各種の地盤災害発生状況およびその地質的素因について
講演者：佐藤 昌人 氏 ((国研) 防災科学技術研究所)

当講演では能登半島地震による地盤災害の発生状況とその地質的な背景についての調査・分析内容についてご報告いただきました。ドローン空撮や写真測量、LiDAR などの最新技術を駆使した現地調査の事例やその有効性の紹介に加え、地質や地盤に応じた災害の類型化および災害予測のための地質情報整理の重要性についてご説明頂きました。



写真-3 佐藤氏の講演

(3) 講演2：令和6年能登半島地震での調査団活動報告

講演者：上野 雄一 氏 ((一社) 斜面防災対策技術協会 能登半島地震現地調査団)

当講演では、斜面防災対策技術協会によって編成された調査団による全11地区の調査結果についてご報告いただきました。既存の斜面安定化対策施設が、地震時の斜面変動に対しても効果が発揮された事例や、地すべり防止施設が損傷しても機能を維持し、被害を最小限に食い止めたケースなど、貴重な事例が紹介されました。



写真-4 会場からの質問を受ける上野氏

3. おわりに

当技術講習会では地すべり発生機構や能登半島地震の調査結果に関する貴重なご講演をいただきました。ご登壇いただいた講師の皆様に厚く御礼申し上げると共に、当講習会を合同で開催しました(一社)斜面防災対策技術協会関東支部の関係各位に深く感謝申し上げます。

関東支部では、今後も会員の皆様に興味を持っていただける行事を進めていきますので、企画や運営に参画して頂ける方を募集しています。ご興味のある方はぜひ支部長 (araiba@fri.go.jp) までご連絡ください。

(関東支部幹事 木村勝美、牧野孝久)